

(社)全日本特殊鋼流通協会

# 名古屋支部ニュース

第35号

## 二団体共催工場見学会

日時 平成23年11月11日～  
12日(一泊)

場所 新日本製鐵(株)  
大分製鐵所

参加者 22名



樋田・(株)三悦代表取締役を団長に22名が中部国際空港を出発、福岡入り。新日鉄(株)大分製鐵所を目指しました。新日鉄大分製鐵所の敷地面積は東西4キロ、南北2キロの約700万㎡。東京ドーム150個分だそうです。世界最大級の高炉2基等、最高峰の設備と技術を見学し圧倒されました。熊谷名古屋支部長が代表し、「今後とも皆様の知恵を十分に生かし、世界一の鉄の国になるよう我々も僅かではありますが、少しでもお役に立てる仕事をしたいと思います。」とお礼の挨拶の後、宿泊先である別府温泉へと向かいました。

翌日は、ゴルフ組と観光組に分かれ、21時20分中部国際空港着のANAで無事帰路に就く事ができました。ご協力頂きました

新日鉄(株)大分製鐵所殿  
には、紙面をお借りし、  
感謝申し上げます。  
ありがとうございました。



## 玉掛け技能・クレーン特別教育セット講習

日時 : 平成23年10月17日・18日  
・19日・21日(4日間)

9時00分～17時00分

場所 : 住友建機販売(株)名古屋技術研修所  
出席者 : 21名

名古屋支部では、21年度に続き、球掛けとクレーンの特別セット講習を開講、開催しました。  
(受講された21名、全員の方が合格されました。)

### ビジネスマン中堅社員研修講座 (特具共催)

日程 : 平成24年2月22日  
講師 : (株)名南経営 村野文洋氏  
受講者 : 26名  
場所 : 愛知県産業労働センター  
研修テーマ : 「コミュニケーション力を高める」

### 株式会社交邦磨棒鋼センター 荒木隆政

今回の中堅社員研修講座は1回目の研修で主に講義と演習、4ヶ月空けて2回目で 取組みの振り返りと効果確認、最後に懇親会というものでした。今までにない初の試みで非常に新鮮でした。

講師の株式会社名南経営 村野文洋先生も面白く、内容もコミュニケーションを題材として、グループディスカッションを中心に非常に楽しく進んでいきました。懇親会では同業他社のみなさんと情報交換ができとても有意義な研修となりました。このような機会がまたあれば是非また参加したいと思いました。

### 特殊鋼販売技士2級認定式

日時 : 平成23年11月22日  
18:00~  
出席者 : 41名  
場所 : 通信会館



### 三団体共催一般講演会

日程 : 平成23年12月13日  
講師 : (株)NTTドコモ東海支社 竹内哲成 氏  
参加者 : 56名  
場所 : 愛知県産業労働センター

### ビジネスマン管理職研修講座

日程 : 平成23年11月16日  
講師 : (株)名南経営 村野文洋 氏  
受講者 : 19名  
場所 : 愛知県産業労働センター  
研修テーマ :  
「部下のやる気を高める  
“効果的な管理術”」

### 研修講座に参加して

### (株)岡谷特殊鋼センター 田中祐二

村野講師より、多数の事例を提示してもらい、部下のやる気を高めるにはどうしたらよいかについて、参加者全員で話し合い、又講師の説明も受け、いい勉強の機会になりました。今後、講習で学んだ事を、日々の業務に活かしていきたいと思います。

### 三団体共催

### 平成24年賀詞交換会開催

日時 : 平成24年1月6日(金)  
18時~20時  
場所 : 名古屋観光ホテル  
出席者 : 約421名



各行事幕開けとなる三団体共催賀詞交換会がステンレス主催の元、名古屋観光ホテルにて開催されました。400名を越える出席者の中、名古屋ステンレス流通協会理事長の堀場昌治・リントツ(株)社長の挨拶で始まり、続いて中部経済産業局産業部製造産業課課長岩田氏のご来賓挨拶、全日本特殊鋼流通協会名古屋支部支部長の熊谷多津旺・クマガイ特殊鋼(株)社長の乾杯の後、賀詞交換会が始まり、新年度のスタートをきりました。

## 二団体共催若手及び女性社員研修

### 「自分と人を幸せにするコミュニケーション」セミナー

日時：平成24年2月24日（金）  
18時～21時

場所：布池教会  
ヨゼフ館



講師：高木さと子氏

参加者  
39名

「若手および女性社員研修会」に参加して

(株)産業新聞 安部拓也

協会の掲げるハグにおいて、実際的な抱擁に相当するハグは一表現に過ぎず、コミュニケーションの進展とそれによる人生の目的達成までを下支えする総括的な他者の肯定をハグとする考えが新鮮だった。ハグを心の所作と解釈することでアジア的な礼に始まる各種作法に通じる精神性を感じたが、実生活への導入を考えると肉体的な接触は避けられず、相手の体臭や体調といった衛生面から服装、顔などの容姿まで必要以上に気になりそう。

## 特殊鋼加工技士(実務編)講座開講

日時：平成24年2月9・13・16・20・23・27  
18:00～20:30

受講者：24名

場所：東桜会館

## 平成24年度行事予定



### 特殊鋼の流通に関する人材育成事業

(担当：人材育成部会)

#### (1) 特殊鋼販売技士入門編研修講座の開講

平成24年4月12日（木）6Hコース  
(於) 東桜会館

#### (2) 新入社員教育

平成24年4月16日（月）  
・工場見学・基礎知識・マナー研修  
(於) 大同特殊鋼(株)知多工場

#### (3) 特殊鋼販売技士3級研修講座

(於) 東桜会館・愛知県青年会館-  
・研修日：平成24年5月10日  
～6月28日  
・検定試験日：平成24年7月5日

#### (4) 特殊鋼販売技士2級研修講座開講予定

(於) 東桜会館  
・研修日：平成24年8月23日  
～10月11日  
・検定試験日：平成24年10月18日

#### (5) 特殊鋼販売加工技士(基礎編)講座予定

(於) 東桜会館

・研修日：平成24年11月頃

#### (6) ビジネスマン研修講座予定(中堅)

・研修日：平成24年10月中旬

#### (7) ビジネスマン研修講座予定(管理職)

・研修日：平成24年11月中旬

#### (8) 特殊鋼販売加工技士1級研修講座予定

(於) 東桜会館

・研修日：平成25年1月中旬

#### (9) 若手および女性社員研修

・日時：平成25年2月中旬予定  
若手及び女性社員のレベルアップ

### 特殊鋼の流通に関する内外関係機関等との交流

#### および協力事業

(担当：内外交流部会)

#### (1) 賛助会員との交流会の実施

#### (2) 倶楽部共催工場見学会の実施

#### (3) 三団体共催優良企業工場見学会の実施

### 平成24年支部総会(担当：総務部会)

平成24年6月19日（火）

(於) 逋信会館

### 平成25年賀詞交換会(3団体共催)

平成25年1月8日(火)

(於) 名古屋観光ホテル



### はがねの日イベント開催

平成24年4月19日（木）

18:00～

於：星ヶ丘ボウル

開催案内送付済みです…



## 会員会社ご紹介（第14回）

第14回となる今回は、(株)司鋼商会様と中野ハガネ(株)様におじゃましました。お忙しい中 貴重な時間をいただき、ありがとうございました。あなたの会社にバトンが届くのはいつでしょう。どうぞお楽しみに。

### (株)司鋼商会 殿

(株)司鋼商会殿は、昭和42年に現社長・澤津橋聖司様の父である平（タイラ）様が設立されました。平様は鹿児島から集団就職で東京の製鋼メーカーに勤務していましたが、材料問屋をしていた叔父様に呼ばれ名古屋の地を踏みました。昭和42年に独立し二次問屋として特殊鋼の切断・販売を専門に営んできましたが、普通鋼も手掛けるようになり、現在では、自動車・建機・一般の素材を幅広く扱っています。

一方、聖司様は東京の大学に進学しましたが途中で名古屋に戻り他社で修行、22歳で自社に入社。平成20年1月、44歳で社長に就任されました。「安く・早く・そしてどんな物でも切る」をモットーにしている司鋼商会殿は、物流にはお金を賭けず、お客様じきじきに受け取りに来て頂く方法をとっています。社内には4t車1台あるのみで専属運転手は置いていません。一日1300トン～1400トンを切断しており、一部24時間のロボット操業です。人による工数は、材料投入と製品の片付けで残業「0」が基本。よって、製品ストックは二日分となっています。会社生活を振り返り一番転機に思う事は、ISOの取得だったそうです。一つの仕事を誰もができるようにするISOの考え方に違和感を持つ職人肌の従業員が5～6名退職、当時は人手不足に悩んだそうです。しかし、ISOの取得により得たものは大きく、取得に対しての成功を感じられたそうです。平成21年には佐久間特殊鋼(株)殿と資本提携、不得意とする営業を補い、会社の飛躍にチャレンジし続ける聖司様です。

趣味はスキューバダイビングと旅行。特に旅行は、自分自身のプランニングであちらこちらと出かけるそうです。

バトンは(株)伊藤ハガネ殿

ご伝言をどうぞ 「芙蓉会会長ご苦労様です。また、参加させていただきます。」



### 中野ハガネ(株)殿

中野ハガネ(株)殿は、現社長である松下浩司様のお爺様が昭和11年にハイス系工具の製造・販売として創立した中野製作所が前身です。戦後27年に株式会社に組織を改め、中野鋼(株)とし日本特殊鋼(株)の指定問屋として同社の特殊鋼、鍛鋼品の販売及び自社設備による高級特殊鋼の鍛造・熱処理・機械加工を行ってきました。昭和29年に中野ハガネ(株)と会社名を改め、現在に至っています。昭和51年大同特殊鋼(株)と日本特殊鋼(株)の合併により、現在は大同特殊鋼(株)の指定問屋になっています。

三代目である松下浩司様は、大学では冶金を学び技術屋として川崎製鐵（現JFE）に入社しましたが、金型部品の商社である(株)ミスミへ転職。3年ほど勉強して31歳の時に自社に入社しました。

お父様の浩二郎様は元々は技術系で、浩司様に社長を譲った後は、新規事業として浜松にある都田研究所で材料に付加価値をつける研究をされています。平成21年に「ものづくり助成金」で薄膜形成処理をする機械を購入、スプレー式熱CVDの研究をしており、現在はパチンコ球のコーティングを研究。成功の暁にはパチンコ店で色がついた球が見られるかもしれません。

浩司様は、38歳で社長を継ぎ5年が経りました。生まれ育った環境からか社長になる事にはあまり抵抗もなく交代し引き継がれたんです。今後は「自社独自の付加価値をつけ得意とするものをどんどん出していく」と力強い抱負を語られました。

バトンは永田鋼材(株)殿へ

ご伝言をどうぞ 「ゴルフ、一緒にやりましょう」



発行責任者 総務部会 部会長:佐橋健一郎

部会員:澤津橋聖司・寺西基治・鷲野光司・山村弥

平成24年3月30日